

令和5年度 学校評価報告書

北海道士別東高等学校長 煙山 訓

令和5年度の学校評価について次のとおり報告します。

1 令和5年度 学校教育目標

地域と連携し、学ぶ意欲にあふれ、地域社会に貢献することができる人材を育成する。

- ・義務教育段階を含む基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学ぶ意欲を高める。
- ・集団生活に必要な規範意識を育てるとともに、コミュニケーション能力を高める。
- ・いじめのない仲間づくりに努めるとともに、命を大切にすることを育てる。
- ・地域を愛し、地域に貢献する意識を高める。
- ・教職員の心身の健康を保持し、効果的な教育活動を行えるよう働き方改革を推進する。
- ・生徒や教員の健康・安心安全に配慮した部活動の指導・運営を推進する。

3 自己評価結果・学校関係者講評と今後の改善方針

評価項目	自己評価の結果	学校関係者講評
学習指導	<p>①学校設定科目「ベーシックスタディ」による学び直しや地域資源を活用した体験的学習の充実を図ることで、基礎学力の定着及び学習意欲の向上が見られた。</p> <p>②個々の目標に応じた、具体的な指導を展開したことにより、学習指導の充実と進路意識の醸成に繋げることができた。</p>	<p>①学びに困難を抱えている生徒が少なくないようだが、基礎学力を身に付けさせる指導が、学習意欲の喚起に繋がっていると考える。これからも丁寧に、生徒の意欲を引き出す授業の展開をお願いしたい。</p> <p>②進路意識向上に向けた取組は多面的・継続的に実施しており、今後も更なる充実を期待する。</p> <p>③自分の将来と向き合う姿勢を育むためにも、インターンシップは重要である。自ら踏み出す力を養って欲しい。</p>
改善方針	<p>◎学習習慣の定着と進路意識の醸成を両輪として、「進路のしおり」を活用するとともに、少人数である利点を生かした学習指導の充実をより一層推進する。また、学校設定科目「ベーシックスタディ」による学び直しの充実や時間をかけて考えさせることを大切にする。</p>	
生活指導	<p>①生徒の基本的な生活習慣の定着やコミュニケーション力の向上を目指し、教職員が一体となってきめ細かく日常的に指導を継続した。</p> <p>②いじめ・スマホトラブル等の未然防止のため、学校・保護者・地域との連携・協力した指導を継続した。</p>	<p>①生徒面談や体験的行事・体験的学習を通じて生徒理解を深め、生徒のコミュニケーション力向上を図って欲しい。</p> <p>②保護者・地域が学校と一体となって連携・協力しながら進めて欲しい。</p>
改善方針	<p>◎一貫した生徒指導を具現化するために、具体的指導基準を明確化し、共通理解を持った指導を継続実施する。</p> <p>◎「いじめは絶対に許されない」との共通認識を徹底し、高い人権意識を持って、教職員・保護者・地域とが一体となって、いじめ防止に努める。改定された生徒指導提要の理解を深める。</p>	
運営	<p>①「士別東高だからこその教育」を推進し、学校と保護者、地域が連携・協働することで、地域社会に貢献できる生徒材の育成をすすめてきた。</p> <p>②校内外の研修を推進するとともに、地域公開授業、教育活動報告会、総探発表会等を通じて本校教育の公開・PRに努めた。</p>	<p>①学校全体の学びの環境が非常に良い。</p> <p>②ボランティア活動やフードバンク活動等の体験的な学習を通じた心の教育推進、コミュニケーション力育成は、本校ならではの魅力推進に寄与すると考える。</p>
改善方針	<p>◎更なる「魅力ある学校づくり」に努めるとともに、学校安心メールを活用した情報発信やPRについて工夫を重ね、地域・保護者への広報活動を推進する。</p>	
連携その他	<p>①地域との連携・協働は多方面で充分とれており、地域の教育資源についても活用を図ることができた。</p> <p>②「士別東高へ入学して良かった」、「士別東高へ入学させて良かった」と思っていたくよう、引き続き鋭意努力を重ねる。</p>	<p>①地域の力を活用した体験学習活動を推進することで生徒の自信につながっていると考える。</p> <p>②学校運営協議会で東高の取り組みやあり方について今後も取り上げて欲しい。</p> <p>②上士別文化祭、交通安全啓発活動など地域との交流を今後も続けて欲しい</p>
改善方針	<p>◎学校HPやフォトだよりの充実を図るとともに、学校行事等の活動を学校訪問や学校安心メールを活用して地域の方々に積極的に広報する。</p>	
公表方法	<p>◎学校HPへの掲載、PTA・振興会総会や学校運営協議会、保護者懇談会等で公表する。</p>	

